

## 【事例紹介】

## カタールにおける外国大学分校の展開

- 「公・私の曖昧さ」の視点から -

The Development of International Branch Campuses in Qatar:  
The Unclear Boundary between Public and Private Sectors

大阪大谷大学教育学部准教授 中島 悠介

NAKAJIMA Yusuke

(Faculty of Education, Osaka Ohtani University)

キーワード：高等教育、国際化、外国大学分校、カタール、グローバル化

## はじめに

カタール国(以下、カタールと表記、図1)はペルシア湾カタール半島を占める、人口約210万人(2016年)のアラブ・イスラーム国家である。周囲はサウジアラビアやイラン、オマーンなどの大国に囲まれており、11,427平方キロメートルという秋田県よりもやや狭い面積に相当する領土しか持たない小国である。一方で、1940年代に発見された原油と天然ガスの生産が国内総生産の5割を超え、国家輸出額の約8割を占め、そのオイルマネーによる一人当たりの国内総生産は湾岸アラブ諸国でも最高水準を維持している。これらの資源により獲得した収入は、自国民への医療費・教育費の無償制や公務員への高福祉待遇といった形で還元されている<sup>1</sup>。

このような社会的特徴を持つカタールであるが、世界的にも有数の外国大学の分校(以下、外国大学分校と表記)の受入国であり、2017年時点で11校の外国大学分校が進出していることが確認できる。これらの外国大学分校の多くは首都ドーハ郊外のエデュケーション・シティ(以下、教育都市と表記)に立地し、「政府系の非政府機関」であるカタール基金が分校の建築費や

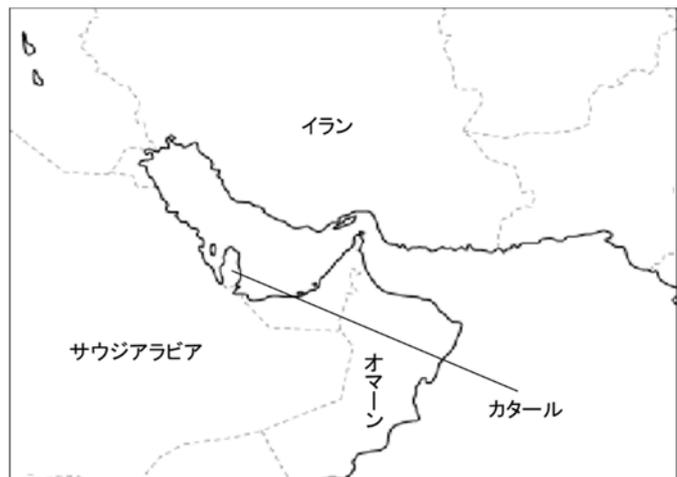


図1. カタールの位置

1 中島悠介「カタールにおける国際バカロレアの展開」李霞編著『グローバル人材育成と国際バカロレア—アジア諸国のIB導入実態』東信堂、2018年、145-170頁。

人件費等も負担することにより、欧米諸国の有名大学を積極的に誘致している。外国大学分校では3割ともいわれるカタール人学生の受け入れが義務づけられており、これらの学生については国立大学に就学するのと同様、政府からの授業料の全額補助や奨学金等を得ることができる点で、公的性格が強いと考えられる。一方、教育都市の外には3校の外国大学分校が展開しており、これらの分校についてはカタール基金より直接的な関与を受けているわけではない(後述)。

一般的に、こうした外国の高等教育機関を「公立(国立)大学」のように公的な性格が強い位置づけに据えることは難しいと考えられる。しかし、カタールでは国立大学であるカタール大学を除き、公・私の位置づけを明示する規定は(筆者がこれまで政府関係者・分校関係者に尋ねた限りでは)確認されていない。しかし、そもそもカタールの教育都市内に立地する外国大学分校は公立大学なのだろうか？それとも私立大学なのだろうか？教育都市の外に立地する外国大学分校とは位置づけが異なるのだろうか？本稿ではこれらのことについて、分校をとりまくアクターとの関係から考えてみたい。

## 1. カタールにおける外国大学分校の展開状況

先述の通り、カタールでは現在11校の外国大学分校が設置され(表1)、そのうち8校がドーハ郊外に整備された教育都市に展開している。1997年に米国のヴァージニアコモンウェルス大学カタールが設立されて以降、ウェイルコーネル医科カレッジカタール(米国・2001年・医学)、テキサスA&M大学カタール(米国・2003年・工学)、カーネギーメロン大学カタール(米国・2004年・情報科学、写真1)、ジョージタウン大学カタール(米国・2005年・国際政治学、写真2)、ノースウェスタン大学カタール(米国・2007年・ジャーナリズム他)、ユニバーシティカレッジロンドンーカタール(英国・2010年・

表1. カタールにおける外国大学分校一覧(設立年順)

大学分校名	提供国	設立年	主な学部・コース
ヴァージニアコモンウェルス大学カタール	米国	1997	デザイン
ウェイルコーネル医科カレッジカタール	米国	2001	医学
テキサスA&M大学カタール	米国	2003	工学
カーネギーメロン大学カタール	米国	2004	情報科学
ジョージタウン大学カタール	米国	2005	国際政治・地域研究
ノースウェスタン大学カタール	米国	2007	ジャーナリズム
ユニバーシティカレッジロンドンーカタール	英国	2010	博物館学
HEC パリーカタール	フランス	2011	MBA
ノースアトランティックカレッジカタール※	カナダ	2002	工学・ビジネス
カルガリー大学カタール※	カナダ	2007	看護学
ス腾デン大学カタール※	オランダ	2009	観光学

出典: Supreme Education Council, Higher Education Institute. 'Muwasasāt al-ta'ālīm al-'ālī fī dawlat Qatar allatī yabta'th 'alā ba'dh biramajhā.' [http://www.edu.gov.qa/En/structure/HigherEducation/Universities\\_doc\\_En/HigherEducationInstitutionsInTheStateOfQatar.pdf](http://www.edu.gov.qa/En/structure/HigherEducation/Universities_doc_En/HigherEducationInstitutionsInTheStateOfQatar.pdf) (2017年1月2日取得)。また、※の機関は教育都市の外に立地している。



写真1. カーネギーメロン大学カタール外観  
(筆者撮影)

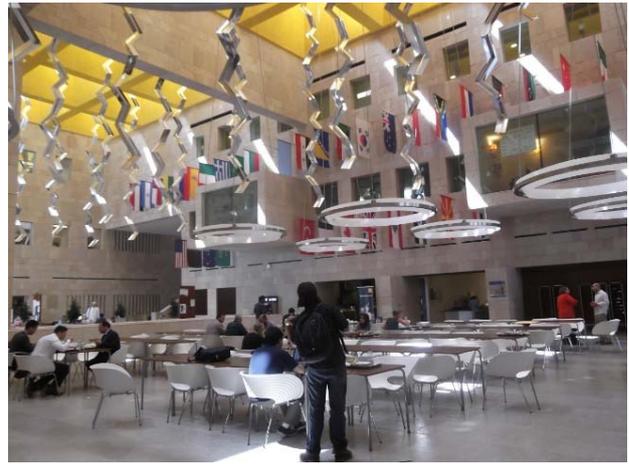


写真2. ジョージタウン大学カタール内部  
(筆者撮影)

博物館学)、HEC パリーカタール(フランス・2011年・MBA)が見られるが、多くが米国の大学である一方、その専攻は分校ごとで異なっており、様々な専攻が集まることで多様化を促進し、いわば総合大学の様相を呈している。こうした教育都市内の外国大学分校に加え、そのエリア外にはノースアトランティックカレッジカタール、カルガリー大学カタール、ステンデン大学カタールといったカナダおよびオランダの高等教育機関の分校が展開している。

これらの外国大学分校の授業料については、大学がその運営資金の一部として設定することができ、実際に分校と本校の授業料はほぼ同額に設定されているが、カタールの政府機関である教育・高等教育省が教育都市内の高等教育機関に通うカタール人学生に対して満額の授業料補助と奨学金を提供している<sup>2</sup>。また外国大学分校の外国人学生の多くは、石油やガス、金融などの部門の企業とのスポンサー提携による奨学金を得る一方、これらの学生は卒業後にスポンサー企業での一定期間の就労が予定されており、このような政府による手厚い支援と、産業界との連携がカタールの外国大学分校の発展に貢献している。

## 2. 外国大学分校をとりまくアクター—「カタール基金」と「教育・高等教育省」

まず、カタールで外国大学分校を積極的に誘致しているカタール基金とは何なのか。カタール基金のウェブサイトによれば、「人的資源、革新技術、芸術施設、有力な組織とのパートナーシップへの投資を通して、人間の能力を発展させる中核拠点を支援するための、独立した、私的の、非営利の、チャーターを受けた組織であり、人々の能力や人生の質を向上させるものである」と記載されている<sup>3</sup>。このように政府機関から独立した、私的で非営利の組織であることが強調されているが、Abdel-

2 杉本均・中島悠介「トランスナショナル高等教育の展開：中東諸国を中心として」『京都大学大学院教育学研究科紀要』第58号、2012年、1-18頁。

3 Qatar Foundation. 'Vision.' <http://www.qf.org.qa/discover-qf/qatar-foundation-vision> (2014年9月10日取得)。

Moneim(2016)はこうしたカタール基金の位置づけについて、「(他のアラブの国ぐにと同様、)カタールは、市民社会における統制を維持し、直接的に君主とつながる王族のメンバーのためのより強い統制を維持するために、政府的非政府機関(Governmental Non-Governmental Organizations、以下、GONGOsと表記)に投資している」とし、GONGOsは政府により資金が提供され、運営される機関であるが、非政府機関であることを主張し、教育、社会、福祉、宗教などの分野において開発的な機能を発揮しており、カタール基金はそのような機関の中でも最も影響力があり、野心的な機関であるとされる<sup>4</sup>。つまり、私的な組織という位置づけながらも組織面や資金面での公的性格が強く、それらを通して分校に影響力を行使していると考えられる。

このように、カタール基金が分校の誘致において一定の役割を發揮する中、2011年に最高教育評議会(2016年に教育・高等教育省に吸収。以下、教育・高等教育省と表記)に含まれる組織である高等教育機構は、第三者質保証機関として私立高等教育機関を中心に適格認定(アクレディテーション)を開始した。その一般条項の中では、「1. 認可される機関は、敬意を集め、認定された大学でなければならない。そしてそれは、自らのリソースや教育プログラムに対して評価の方法や自己評価を適用しなければならない。機関は、母体となる大学と同じ手続き、および学術認定システムの対象にならない」、「2. 母体となる大学は、認可を受けている期間中、カタールの分校とのパートナーシップから撤退してはならない」とあるように、この適格認定では外国大学分校も対象とされることが看取できる<sup>5</sup>。

### 3. 外国大学分校をとりまくアクターによる関与

それでは、こうしたカタール基金や教育・高等教育省は外国大学分校についてどのような影響力を發揮しているのだろうか。まず、カタール基金の関わりとして、ジョージタウン大学カタール(以下、GUQと略)の事例を概観する。GUQは米国の私立大学であるジョージタウン大学の分校であり、カタール基金によってカタールにキャンパスを設置するように誘致されたが、あくまでジョージタウン大学の一部として、独立しているわけではないという位置づけになっている。筆者がインタビューした内容によれば、毎年カタール基金からGUQに対して運営予算が提供され、それに基づいて分校を運営することが求められる。カタール基金は、GUQが予算内で毎年の運営を行い、年齢超過の学生を抱えることなく、分校が優秀な管財人となることを期待しているという。また、教育・高等教育省については、その認証なしではGUQの教育活動を提供することはできないが、高等教育機構から適格認定の評価を受けているわけではなく、カタール基金を通して教育・高等教育省の認証を得ている。その結果とし

4 Abdel-Moneim, M. A. *A Political Economy of Arab Education: Policies and Comparative Perspectives*. Abingdon: Routledge, 2016, pp. 142-145.

5 Supreme Education Council, Higher Education Institute. *Procedures for Licensing and Accreditation of Private Higher Education Institutions in the State of Qatar*. 2011, pp. 2-3.

て、GUQの学位はカタールにおいて認証され、カタールで働きたいと考える者はジョージタウンの学位を提出することができ、その学位はカタールにおいて職を得る中で技能や習熟度を示すために認められることになる。

特に、カタール人にとっては教育・高等教育省からの認証を受けているかどうかというのは、この大学を選択するかどうか大きく影響するために重要になるが、それはカタール政府によって学位を認証されていない大学に就学しても、公的機関における就職では正式な学位として認められないことが理由となる。また、カタール人は高等教育機関に入学する際、高等教育機構を通して授業料や奨学金を得ることができるが、カタール人がそうした利益を受けるのは教育・高等教育省が認証を与えた大学に限定されているため、もしGUQが認証されていない場合、カタール人を入学させることは困難になる。GUQが新しいプログラムを開発するときには、カタール基金がそれらのプログラムを許可する限り、カタール基金が教育・高等教育省との仲介者としての役割を果たし、他のプログラムと同様の認証を受けることが保証されるという。

次に、教育都市の外に立地している外国大学分校について、スタンデン大学カタール(以下、SUQと略、写真3)を事例に見てみよう。SUQはオランダの国立大学であるスタンデン大学の分校として2002年に設置された。SUQはオランダのスタンデン大学と、カタールの現地企業であるファイサル・ホールディングのジョイントベンチャーとして設置された私立大学として扱われている。筆者がSUQで実施したインタビューでは、教育・高等教育省はSUQを認証しているが、カタール基金はSUQの運営や質保証には関わっておらず、SUQはカタール基金からは完全に分離されている。しかし教育・高等教育省については、SUQは高等教育機構の適格認定を受けなければならない、その評価のプロセスでは多くのことが求められることから、大学を認定することにとっても熱心を感じていたという。その具体的な状況として、「SUQが修士プログラムを提供する際、必要なすべての文書を高等教育機構に提出し、その評価が行われ、その後にSUQと高等教育機構は一連のミーティングを行い、その時に機構は更なる情報を要求し、SUQはそれを提出し返し、情報をより明確化したうえで、それから別のミーティングを開き、高等教育機構はさらなる情報を求めるといったことが5～6回にわたり行われる。SUQがすべての要件や従うべき水準を満たした後に、高等教育機構は私たちを認定することを決定する」と述べられていた。さらにインタビューの中では、「教育・高等教育省は私立大学についてはよく見ており、ほとんどが私たちのような私立高等教育機関になっている。彼らはその質を示したいと思っているが、例えば、カタール大



写真3. ステンデン大学カタール外観(筆者撮影)

学やカタールコミュニティ・カレッジとともに、カタール基金が誘致している分校はカタール政府によって規制されていない」として、カタール基金が直接的に誘致している外国大学分校には、第三者質保証機関である高等教育機構の適格認定が必要とされないことが示唆されている。

## おわりに

このように、カタールにおける外国大学分校へのローカルな組織による関与について、一定の相違が見られる状況がある。カタール基金は GUQ をはじめとした外国大学分校を直接的に誘致し、教育都市という限定された区域で展開を進めているが、多額の公的資金を投入するかわりに、一定数のカタール人学生を受け入れることを義務づけながら、分校へ本校と同等の学習成果・学位を達成することを要求している。こうした形での分校の質への関与は、スポンサーとしてのカタール基金がその意向を反映させようとするのはあれど、外国大学分校の質に対する体系的な評価に関わるとはいい難いと考えられる。また、GUQ および SUQ におけるインタビュー調査より、カタール基金により誘致が行われている時点で自動的に教育・高等教育省からの認証が得られる仕組みになっている。特に、カタール人の学生を受け入れたり、カタール人学生を公的機関に就職させたりする際に教育・高等教育省による認証が求められるため、その重要性は共通して認識されていた点で、カタールの視点として見れば、国家的な制度の枠外で展開しているわけではないことが窺えた。

一方、教育・高等教育省に属する高等教育機構は、SUQ の事例に見られたように、一定の基準をもって外国大学分校に対しても適格認定を実施している。GUQ のようなカタール基金によって直接的に誘致されている分校とは異なり、SUQ のように独自に展開している外国大学分校にはカタール基金による関与はないとされる。GUQ が本校とは分離されない1つのユニットとして展開している一方で、SUQ はファイサル・ホールディングとのジョイントベンチャーにより展開している私立大学として、高等教育機構が国家として統一的な基準を適用した評価を実施している。

以上の状況から考えてみると、SUQ のように教育・高等教育省(高等教育機構)が適格認定を行う外国大学分校については「私立大学」としてみなすことができるものの、GUQ のようなカタール基金が誘致する分校については、その公・私の位置づけは曖昧なものとして捉えることができる。カタール基金自体は「政府的非政府機関」として、カタール政府からは名目上独立しているものの、高等教育機構による適格認定を経ずとも教育・高等教育省の認証を得ることができるという点で、その役割や機能は公的性格が強いものとみなすことができる。こうした公・私の位置づけが曖昧な分校が多数設置されていることも、カタールにおける外国大学分校の展開の特徴として捉えることができよう。